



不知火っ子だより

第20号



平成30年3月20日 文責 校長 吉永博美

63人の6年生のみなさん ご卒業おめでとうございます 不知火小のリーダーとして頑張ってくれた6年生ありがとう！

卒業生の最後の1年は、熊本地震の影響でプレハブ校舎からのスタートでした。道路に面し、騒音も多い教室での授業でしたが、よく集中して学習に取り組んでいました。不便なことや我慢をしなければならないことも多くありましたが、「ひとみキラキラ心ぴかぴか」の合言葉のもと、いつも笑顔で学校をリードしてくれる6年生の姿がありました。小学校で学んだこと、体験したことは、卒業生みなさんの力となっています。そして、家族や地域の方々の温かい愛情、様々な地域の方たちとのふれあいや体験をとおして育んできたふるさと「不知火」を誇りに思う気持ちは、これからの様々な場面での大きな支えとなることでしょう。4月からは中学生です。目標に向かって進む強い心と、人を思いやる優しい心を持ち、自ら学び、考えることができる中学生になってほしいと思います。

不知火小学校自慢の卒業生63人です。これからも自分のよさを伸ばし、いろんなことにチャレンジし、自分の可能性を広げてください。いつまでも応援しています。

小さいことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただひとつの道 イチロー

「ひとみキラキラ 心ぴかぴか」ひとみ輝く「不知火っ子」に！

「ひとみキラキラ 心ぴかぴか」は、「こんな子どもになろう！」という不知火小学校の合言葉として2年間掲げてきました。目標に向かって一生懸命頑張る子どもたちの瞳はキラキラ輝いています。友だちに優しく接したときや、大きな声であいさつしたとき子どもたちの心はぴかぴかになります。そんな「ひとみキラキラ 心ぴかぴか」の不知火っ子になってほしいと願いをこめていました。

1年間の成長を伝える通知表には、そんな子どもたちの姿がたくさんつまっています。

通知表の内容を少しだけ紹介します。

- 1年生…友だが増え、一緒に遊んだりおしゃべりしたりすることが楽しくて仕方がない様子です。授業中は、意欲的に手を挙げ発表しています。頑張りたいという気持ちが伝わってきます。
- 2年生…体育のなわとびでは、綾跳びや交差跳びなどに挑戦し、練習を繰り返してできるようになりました。いろいろな場面で努力を惜しまず取り組むことができました。
- 3年生…困っている友だがいると声をかけたり、手助けをしてくれたりしました。いつもにこにこ笑顔で友だちに接し、周りがほっとする雰囲気をつくってくれました。
- 4年生…話を聞く姿勢やノートを整理する習慣ができたので、学習内容がしっかり身に付きました。友だには思いやりをもって接することができました。
- 5年生…話し合いでは、自分の意見をはっきり伝え、より良い方向に意見をまとめようと努めていました。また、何事においてもすばやく行動しようと心がけ、責任をもって取り組みました。
- 6年生…どんな場面でも丁寧にあいさつする姿は、低学年の手本となりました。学習では、発表だけでなく友だの意見にも熱心に耳を傾け、交流の中で自分の考えを深めることができました。

2年間お世話になりました。今年度末で定年退職を迎えます。保護者の皆様方には、いつもご協力ご支援をいただきありがとうございました。「不知火っ子」がこれからもひとみを輝かせながら、健やかに成長されることを願っています。 不知火小学校長 吉永博美

